

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

2050年のありたい姿・太平洋セ

グループの総合力とカーボンニュートラルをはじめとする革新的技術を全世界に展開し、世界のセメント産業のリーダーとなる。

セメント価格改定
2,000円/トン以上

② 中長期の経営戦略

1. 国内事業の再生

セメント価格適正化による収益重視、営業体制効率化、混合セメント輸出拡大と国内向け安定供給を前提とした生産体制最適化

3. カーボンニュートラル戦略

2050年サプライチェーン全体でのカーボンニュートラル実現を目指し、カーボンニュートラルモデル工場構想と混合セメント化を推進

2. グローバル戦略推進

米国やフィリピンの既存事業強化、未進出エリア進出、混合セメント展開と物流ネットワーク強化によるトレーディング事業拡大

4. セメント（国内）事業

価格適正化による再生、工場設備強靱化による安定生産、輸送体制強化、低炭素型混合セメント製品化検討

③ 対処すべき課題

① 国内需要減少への対応

- ・建設現場の慢性的な人手不足と週休二日制拡大への対応
- ・工事費高騰による再開発工事延期への対応
- ・セメント需要減少市場での収益性向上

② 世界経済リスク管理

- ・米国の関税政策が实体经济に及ぼす影響の注視と対応
- ・世界的な混乱の長期化による設備投資・個人消費減下への影響
- ・金融市場動向の注視

③ カーボンニュートラル実現

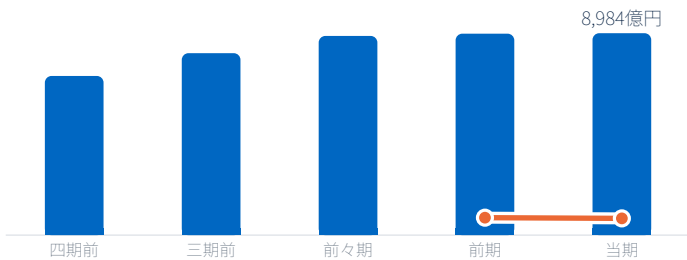
- ・革新的セメント製造技術確立に向けたモデル工場構想
- ・既存技術を活用した混合セメント化推進
- ・サプライチェーン全体での2050年カーボンニュートラル実現

面接で使えるポイント

- ・北海道新幹線札幌延伸やリニア中央新幹線関連工事、国土強靱化対策など国内の主要プロジェクトが需要を支える中での事業展開
- ・セメント価格2025年4月より現行価格+2,000円/トン以上改定を通じた収益重視への転換と競争力強化
- ・2050年カーボンニュートラル実現に向けたモデル工場構想とカーボンニュートラルモデルセメント開発による産業リーダーシップ…

証券コード 5233

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
8,984億円営業利益率
8.3%財務健康度
41点 / 100点

将来性 晴れ時々曇り / 就活偏差値 57.8（当サイト算出の参考指標）

平均年収
846万円

ガラス・土石製品内 7位/47社

平均年齢
39.6歳

ガラス・土石製品内 47位/47社

平均勤続
16.8年

ガラス・土石製品内 22位/47社

女性管理職
3.7%

ガラス・土石製品内 23位/39社

男性育休
81.0%

ガラス・土石製品内 18位/38社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: ノムラ インターナショナル ピーエルシー(NOMURA IN

要するに
太平洋セメント株式会社の事業概要

…

主力事業・セグメント

- セメント 78.1%
- Environmental 9.2%
- 資源 7.8%

強み・特徴（公開データから）

- 連結売上高8,984億円の事業規模
- 営業利益率8.3%の安定した収益性
- 将来性評価は晴れ時々曇り

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

